

課目名	衛生管理 I						
課目名(英)	Hygiene management I						
単位数	1単位		時間数	30時間	担当者	竹原直道・白木光・相良献	
実施年度	2023年度		実施時期	前期	担当者実務経験	大学院にて研究する傍ら 歯科医師として訪問診療等の歯科業務に従事	
対象学科・学年	美容科 1年生						
授業概要	美容業界を目指す専門生として実社会における衛生知識の向上と啓発を図ることを目的とする。 学習意欲を高め規律ある授業態度の確立を行うと共に美容師として必要な公衆衛生、環境衛生に関する基礎を習得させ国家試験合格を目指す。						
授業形態	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					衛生に関する歴史上の人物と業績について3人以上説明する事ができる。	
	○					保健所の役割と美容室への関係性についての説明ができる。	
	○					母子・高齢者・精神保健についての説明ができる。	
	○					環境衛生と美容師の関わりについての説明ができる。	
テキスト・教材 参考図書	・日本理容美容教育センター 出版：衛生管理 ・日本理容美容教育センター出版：ワークブック						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	1編 1章 衛生管理の概要・・・公衆衛生の定義				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	2	1編 1章 衛生管理の概要・・・美容師と公衆衛生との関わり				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	3	2章保健・・・保健所の機能と事業				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	4	2章保健・・・美容師と公衆衛生との関わり				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	5	2章保健・・・保健についての基礎知識				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	6	2編保健・・・老人の保健と福祉□				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	7	1章 環境衛生・・・公衆衛生水準に関する指標				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	8	1章 環境衛生・・・人を取り巻く環境要因や環境				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	9	1章 環境衛生・・・環境に対する人の適応性				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	10	1章 環境衛生・・・健康的な環境をつくる目的				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	11	1章 環境衛生・・・自然環境要因の理解(空気)				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	12	1章 環境衛生・・・自然環境要因の理解(温熱、水)				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	13	公衆衛生復習問題・・・公衆衛生全般について				配布したプリント・教科の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	14	環境衛生復習問題・・・環境「衛生全般について				配布したプリント・教科の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	15	期末試験 解答 解説 / 3篇 感染症				期末試験問題用紙を事前に確認していくこと	
評価方法	(1)授業の中で小テストを5回実施する。 (2)宿題・レポートを数回実施する。 (3)定期試験(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験		○				80%
	出席点				○		20%
履修上の注意	毎回の授業でプリントを配布するためファイルに保管する。						

課目名	保健Ⅰ						
課目名(英)	health cosmetology						
単位数	1単位		時間数	30時間		担当者	齊田 順子
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験	看護師、研修講師として勤務
対象学科・学年	美容科1年生						
授業概要	人体の構造及び機能・皮膚科学に関する知識が美容の仕事に、また個人の健康に活かせるように授業を進めていく。 国家試験合格に必要な知識を着実に学習していく。 安全な施術を実践できることを目指し、美容において何が健康を害する可能性があるのか等の知識も応用できるように学習する。						
授業形態	講義： ○		演習：	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					美容に関係する人体の構造や機能についての質問に対し説明できる。	
	○					美容の施術を効果的に行うための、皮膚・毛髪などに関して質問に対し説明ができる。	
	○					人体の構造及び機能・皮膚科学について口頭で質問した場合説明ができる。	
	○	○				知識を元に自分自身や施術依頼者の安全や心身の健康状態に配慮した言動がとれる。	
テキスト・教材 参考図書	・保健教科書・配布プリント 【参考図書 ・ぜんぶわかる人体解剖図(成美堂出版) ・からだの地図帳(講談社)】						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	はじめに 1編1章 頭部、顔部、頸部の体表解剖学				教科書の該当範囲を読み予習	
	2	1編2章 骨格器系…骨の種類と構造、骨格器系とそのはたらき				教科書の該当範囲を読み予習	
	3	1編3章 筋系…種類と特徴、骨格筋、表情筋、筋疲労				教科書の該当範囲を読み予習	
	4	1編4章 神経系…神経系の成り立ち ・ 1編5章 感覚器系				教科書の該当範囲を読み予習	
	5	1編6章 血液・循環器系…経路、心臓、リンパ管系の仕組み				教科書の該当範囲を読み予習	
	6	1編7章 呼吸器系 ・1編8章 消化器系				教科書の該当範囲を読み予習	
	7	前半まとめ (人体の機能及び構造)				前半のポイントを中心に復習しておく	
	8	2編1章 皮膚の構造…表皮、真皮、皮下組織				教科書の該当範囲を読み予習	
	9	2編2章皮膚付属器官の構造・2編3章皮膚の循環器系と神経系				教科書の該当範囲を読み予習	
	10	2編4章 皮膚と皮膚付属器官の生理機能				教科書の該当範囲を読み予習	
	11	2編5章 皮膚と皮膚付属器官の保健				教科書の該当範囲を読み予習	
	12	2編6章 皮膚と皮膚付属器官の疾患				教科書の該当範囲を読み予習	
	13	後半まとめ (皮膚科学)				後半のポイントを中心に復習しておく	
	14	学期末テスト対策授業				今までのポイントを復習しておく	
	15	学期末テスト解説				テストを復習しておく	
評価方法	(1)授業の中で小テストを数回実施する。 (2)定期試験(筆記)を実施する。 (3)授業態度(取り組む姿勢)。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○			○		80%
	小テスト①	○			○		10%
	小テスト②	○			○		10%
履修上の注意	・教科書、筆記用具、ファイルの準備 ・出席が10回未満の場合は定期試験を受験できない(補講終了の場合は除く)						

課目名	美容技術理論Ⅰ				
課目名(英)	Beauty Technical theory				
単位数	2単位	時間数	60時間	担当者	西依優・荒木成美・石井
実施年度	2023年度	実施時期	通年	担当者実務経験	サロンに美容師として勤務
対象学科・学年	美容科1年				
授業概要	美容師資格を取得し一人前の技術者になるため美容の基礎的な理論と技術を学ぶ事を目的とする。技術には裏付けとなる理論が必ずある。「なぜそうなのか」を明確に解き明かし、より良い美容の技術と心をお客様に提供できる美容師を目指す。				
授業形態	講義：○	演習：	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○				
	○				
	○				
	○				
	○				
テキスト・教材 参考図書					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	序章 美容技術理論を学ぶにあたって			教科書に目を通し予習をしておく事。
	2	1章 美容用具・・・コーム、ブラシ、シザーズ			プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。
	3	1章 美容用具・・・レザー、ピン類ヘアクリップ、ロッド、ローラー、ヘアアイロン、ドライヤー、スチーマー			プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。
	4	まとめ①(序章・1章の復習・小テスト)			プリントを使い、予習・復習をしておく事。
	5	2章 シャンプーイング・・・シャンプー総論、			プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。
	6	2章 シャンプーイング・・・サイドシャンプー、バックシャンプー			プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。
	7	2章 シャンプーイング・・・リンス、コンディショナー、トリートメント			プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。
	8	まとめ②(2章の復習・小テスト)			プリントを使い、予習・復習をしておく事。
	9	3章 ヘアデザイン・・・錯覚現象について			プリントを使い、予習・復習をしておく事。
	10	3章 ヘアデザイン・・・デザインの要素			プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。
	11	4章 ヘアカット・・・ヘアカットとは			プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。
	12	4章 ヘアカット・・・ヘアカットの基礎理論			プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。
	13	試験対策問題解答・解説			プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。
	14	前期試験解答・解説			プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。
	15	4章 ヘアカット・・・レザーによるカット			プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。
	16	まとめ①(3章、4章の復習・小テスト)			教科書を使い、予習・復習をしておく事。
	17	5章 パーマnentウェービング・・・パーマnentウェーブの歴史と現在			プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。
	18	5章 パーマnentウェービング・・・パーマ剤の分類、注意事項			プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。
	19	5章 パーマnentウェービング・・・ワインディングのバリエーション			プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。
	20	6章 ヘアセッティング・・・ヘアセッティングとは・ヘアパーティング、カーリング			プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。
	21	6章 ヘアセッティング・・・ローラーカーリング			プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。
	22	6章 ヘアセッティング・・・アイロンセッティング			プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。
	23	6章 ヘアセッティング・・・ウィッグとヘアピース			プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。
	24	まとめ②(5章、6章の復習・小テスト)			プリントを使い、予習・復習をしておく事。
	25	7章 ヘアカラーリング・・・ヘアカラーリング概論			プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。

	26	7章 ヘアカラーリング・・・ヘアカラーリングの種類、特徴	プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。				
	27	7章 ヘアカラーリング・・・染毛剤、染毛料、注意事項	プリント、教科書を使い、予習・復習をしておく事。				
	28	まとめ③(7章の復習・小テスト)試験対策問題解答・解説	プリントを使い、予習・復習をしておく事。				
	29	試験対策問題解答・解説	プリントを使い、予習・復習をしておく事。				
	30	後期末試験解答・解説	教科書2の予習をしておく事。				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)授業態度は、出席・提出物・授業態度(居眠り)などで総合的に評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験		○				80%
	小テスト	○					10%
	提出物		○		○		10%
履修上の注意	授業開始前に準備を整えておくこと。						

課目名	美容実習Ⅰ				
課目名(英)	Beauty Technique TrainingⅠ				
単位数	14単位	時間数	420時間	担当者	西依優子・荒木成美・石井
実施年度	2023年度	実施時期	通年	担当者実務経験	美容室にて美容師として勤務
対象学科・学年	美容科1年				
授業概要	国家試験合格に向けて、第二課題であるワインディングを中心に基礎技術を身に付ける。 また、衛生に関する知識、技術も同時に身に付けると共に、将来の美容業界で活躍できる基本的知識と技能も同時に習得する事も目的とする。				
授業形態	講義:	演習:	実習: ○	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他
			○		
		○			
			○		
		○			
目標					
練習を重ねるごとに、美容技術の課題を短時間で表現できる。					
頭の丸みを理解し、能率的に作業を行うことができる。					
ワインディング技術課題(オールパーパス・スタイル巻き)をそれぞれ全頭巻く事ができる。					
衛生面に対しても意識を持ち作業を行うことができる。					
テキスト・教材 参考図書					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	教材配布。ワインディングの教材の説明、名称、用途からの説明。			サインペンの持参
	2	教材配布。ワインディングの教材の説明、名称、用途からの説明。			サインペンの持参
	3	国家試験第二課題 ワインディングスタイル巻き ブロッキング・第2ブロック			教科書で動画で事前学習
	4	教材配布。ワインディングの教材の説明、名称、用途からの説明。			教科書で動画で事前学習
	5	国家試験第二課題 ワインディングスタイル巻き ブロッキング・第2ブロック			教科書で動画で事前学習
	6	国家試験第二課題 ワインディングスタイル巻き ブロッキング・第2ブロック			教科書で動画で事前学習
	7	国家試験第二課題 ワインディングスタイル巻き ブロッキング・第3、4ブロック			教科書で動画で事前学習
	8	国家試験第二課題 ワインディングスタイル巻き ブロッキング・第3、4ブロック			教科書で動画で事前学習
	9	国家試験第二課題 ワインディングスタイル巻き ブロッキング・センター			教科書で動画で事前学習
	10	国家試験第二課題 ワインディングスタイル巻き ブロッキング・センター			教科書で動画で事前学習
	11	国家試験第二課題 ワインディングスタイル巻き 第1ブロック			教科書で動画で事前学習
	12	国家試験第二課題 ワインディングスタイル巻き バックサイド・サイド			教科書で動画で事前学習
	13	国家試験第二課題 ワインディングスタイル巻き バックサイド・サイド			教科書で動画で事前学習
	14	国家試験第二課題 ワインディングスタイル巻き バックサイド・サイド			教科書で動画で事前学習
	15	国家試験第二課題 ワインディングスタイル巻き バックサイド・サイド			教科書で動画で事前学習
	16~ 22	国家試験第二課題 ワインディングスタイル巻き 40分巻き			教科書で動画で事前学習
	23~ 28	TONI&GUYカット レイヤーカット			前回までの復習
	29~ 61	国家試験第二課題 ワインディングスタイル巻き 30分巻き			教科書で動画で事前学習
	62~ 78	国家試験第二課題 ワインディングスタイル巻き 25分巻き			教科書で動画で事前学習
	79~ 88	実務実習 掃除等のサロンワーク			事前のアポイント、注意事項などまとめておくこと
	89~ 189	国家試験第二課題 ワインディングスタイル巻き 20分巻き			教科書で動画で事前学習
	190~ 210	似合わせ作品制作 3人1組			デザインの収集と話し合いをしておくこと
	(1)実技試験による評価 (2)レポート提出による評価 (3)学内でのコンテストの実績による評価 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。				

課目名	ヘアテクニック 【シャンプー＆ブローⅠ】						
課目名(英)	shampoo / blow-drying						
単位数	5単位		時間数	150時間中の 30時間	担当者	西依優・荒木成美・石井	
実施年度	2023年度		実施時期	通年	担当者実務経験	美容師として勤務	
対象学科・学年	美容科1年						
授業概要	美容の業務の基本であるシャンプーと、応用技術であるブロードライの基礎を学ぶ。 道具の使い方・手の動かし方、スタンスを身に付けサロンレベルの技術の修得をする。						
授業形態	講義：		演習：	実習： ○	実技： △	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
		○				基本の知識/道具説明、シャンプーの手順を覚えて、実際にシャンプーができる。	
			○			手順に沿ったサイドシャンプーの技術を説明することができる。	
			○			ウィッグに対してのストレートブローが出来る。	
			○			ロールブラシでのブローが出来る。	
テキスト・教材 参考図書							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	シャンプーの基礎を知らう/理論①の教科書にて道具説明/シャンプー台の使い方、片付け方、シャンプー台の使い方/ファーストシャンプー				理論①の教科書にて予習・復習	
	2	シャンプーの基礎を知らう/理論①の教科書にて道具説明/シャンプー台の使い方、片付け方、シャンプー台の使い方/ファーストシャンプー				手順の確認・復習	
	3	スキャルプマニピレーション/ブロー：ストレートブロー（デンマン）				手順の確認・復習	
	4	スキャルプマニピレーション/ブロー：ストレートブロー（デンマン）				手順の確認・復習	
	5	セカンドシャンプー（塗布量、声掛け、手の動き）				手順の確認・復習	
	6	セカンドシャンプー（塗布量、声掛け、手の動き）				手順の確認・復習	
	7	スキャルプマニピレーション/ブロー：内巻（ロールブラシ）				手順の確認・復習	
	8	スキャルプマニピレーション/ブロー：内巻（ロールブラシ）				手順の確認・復習	
	9	セカンドシャンプー（塗布量、声掛け、手の動き）				手順の確認・復習	
	10	セカンドシャンプー（塗布量、声掛け、手の動き）				手順の確認・復習	
	11	スキャルプマニピレーション/ブロー：内巻（ロールブラシ）				手順の確認・復習	
	12	スキャルプマニピレーション/ブロー：内巻（ロールブラシ）				手順の確認・復習	
	13	セカンドシャンプー（塗布量、声掛け、手の動き）実技テスト				手順の確認・復習	
	14	ブロー：内巻 実技テスト				手順の確認・復習	
	15	スキャルプマニピレーション 筆記テスト				手順の確認・復習	
評価方法	(1)実技テストを実施する。 (2)筆記テストを実施する。以上を下記の観点で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実技テスト(シャンプー)			○	○		40%
	実技テスト(ブロー)			○	○		30%
	スキャルプマニピレーション			○	○		30%
履修上の注意	出席が12回以上の満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。(補習を完了したものを除く)						

課目名	ヘアテクニック【ヘアセット＆着付け】						
課目名(英)	Hair Technique						
単位数	5単位		時間数	150時間中 20時間	担当者	吉田理恵子	
実施年度	2023年度		実施時期	前期	担当者実務経験	平成24年着付け講師及び 教室開校資格取得	
対象学科・学年	美容科 1年生						
授業概要	黒留袖着付けに関する、基礎知識と基礎技術を習得する ヘアアレンジに関する基礎知識と基礎技術を習得する						
授業形式	講義:		演習:	実習: ○	実技: △	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					着付けに必要な道具の名称、使い方の説明ができる	
		○				着付けの基礎技術を実施できるようになる	
		○				基礎技術の組み合わせで、黒留袖を着付けることができる	
	○					ヘアアレンジに必要な道具の名称、使い方の説明ができる	
		○				ヘアアレンジの基礎技術を実施できるようになる	
		○				基礎技術の組み合わせで、ヘアスタイルを作ることができる	
テキスト・教材 参考図書	日本理美容教育センター 美容技術理論Ⅱ						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	道具の名称・着付準備 - 着物・長襦袢のたたみ方、着物・長襦袢の片付け方、補正の仕方、長襦袢の着付け				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	2	黒留袖着付け - 黒留袖着付け				前回の復習をしておくこと	
	3	黒留袖着付け - 帯の結び方				前回の復習をしておくこと	
	4	黒留袖着付け - 復習				実技テストの連絡をしておくこと	
	5	実技テスト(黒留袖着付け)				実技テスト	
	6	道具の説明・使い方 - ピン・ブラシ類の説明、ホットカーラーの巻き方、一束結び、ピンの止め方					
	7	道具の説明・使い方 - フォワードスパイラルカール、ロープ編み、編み込み(表・裏)				前回の復習をしておくこと	
	8	簡単ヘアアレンジ - 復習と応用				前回の復習をしておくこと	
	9	簡単ヘアアレンジ - 復習と応用				実技テストの連絡をしておくこと	
	10	実技テスト				実技テスト	
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価方法	(1)実技テストで評価する。 績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 成						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実技テスト		◎				100%
履修上の注意							

課目名	美容教養(接遇)						
課目名(英)	Beauty skill (manner)						
単位数	4単位		時間数	120時間中 30時間	担当者	林 理沙	
実施年度	2023年度		実施時期	通年	担当者実務経験	ネイルサロンにてネイリストとして勤務	
対象学科・学年	美容科1年						
授業概要	ビジネススキル、カウンセリングスキルをはじめ、ビューティーコーディネーターの役割と生産性を高めるフロアマネジメントを理解し理論と技術力を身に付ける。ビューティーコーディネーターが単なるレセプション専門職ではなく美容師こそが学び、サロンワークへと活かすことができるようお客様のトータルビューティーのベースとなる知識と理論を身に付けビューティビジネス実務検定取得を目指す。						
授業形態	講義： ○		演習：	実習： △	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					接遇とは何かを説明することができる。	
		○	○			社会人としての基本的な振る舞いができる。	
	○					ヒヤリ・ハットの情報を伝え、対策を考えることができる。	
		○	○	○		ホスピタリティ(常に相手に思いやりの心)を持ち、接することができる。	
	○					美容基礎知識を説明することができる。	
テキスト・教材 参考図書	JBCAビューティビジネス実務検定公式テキスト						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	ビューティーコーディネーターとは・・・何か				特になし	
	2	美容業におけるビジネスキャリア				特になし	
	3	ホスピタリティを発揮するビジネスコミュニケーション				特になし	
	4	接客の基本と電話の受け方・かけ方				特になし	
	5	サロンのメディア活用				特になし	
	6	小テスト(敬語、電話対応) 生産性を高めるサロンオペレーション				特になし	
	7	生産性を高めるサロンオペレーション				特になし	
	8	「美意識」をコーディネートする				特になし	
	9	ファッションを理解する				特になし	
	10	ビューティーコーディネーターの1日と就業中のマナー(復習)				特になし	
	11	フロアマネジメントワーク(電話対応)				特になし	
	12	ビューティビジネス実務検定 最新の過去問題を解く				特になし	
	13	美容基礎知識 毛髪理論、頭皮化学				特になし	
	14	美容基礎知識 トータルビューティメニュー				特になし	
	15	定期試験(筆記)、解答解説				授業で配布した問題、小テストを見直しておく	
評価方法	(1)授業の中で小テストを実施する。(2)定期試験を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				40%
	小テスト	○	○				30%
	授業態度				○		30%
履修上の注意	出席が4/5に満たない場合は定期試験の受験資格を与えない						

課目名	美容教養【美容業界研究Ⅰ】									
課目名(英)	HAIR TECHNIQUES									
単位数	4単位		時間数		120時間中 20時間		担当者		西依優・荒木成美・石井	
実施年度	2023年度		実施時期		通年		担当者実務経験		サロンに美容師として勤務	
対象学科・学年	美容科1年次									
授業概要	就職活動を控え就職を意識すると共に、美容業界の知識を深め、内定獲得する為の社会的スキルを身に付ける。									
授業形態	講義：○		演習：△		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標				
		○				学校求人を中心に企業研究をする事ができる。				
		○				学内での就職支援の機能を使いこなすことができる。				
	○					面接試験の傾向と対策を理解し、しっかりとした言動で模擬面接を行う事ができる。				
		○				作文、履歴書の記入方法を理解して、履歴書制作ができる。				
テキスト・教材 参考図書	就職ガイドブック・履歴書									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	学校求人を中心にリサーチ。就職を意識させる。 就職支援の機能を使いこなす。								
	2	企業の選び方のチェックポイントについて								
	3	実務実習サロンの検討					サロン調べを行い、実務実習候補サロンを選定しておくこと			
	4	実務実習の内容と注意事項					注意事項をまとめ、自分の実習中の取り組み方を事前学習しておくこと			
	5	就職試験、求職票受付面接の内容を確認する。					取得検定についてまとめておくこと			
	6	求職票の作成					自己PR文書を考えてくること			
	7	求職票受付面接の練習					良くある質問の考えをまとめておくこと サロン調べをしておくこと			
	8	求職票受付面接の練習					良くある質問の考えをまとめておくこと サロン調べをしておくこと			
	9	就職オリエンテーション(履歴書の書き方)					事前資料をよく読んでおくこと			
	10	就職オリエンテーション(面接について)					事前資料をよく読んでおくこと			
	11									
	12									
	13									
	14									
15										
評価方法	事前資料をよく読んでおくこと									
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	レポート提出			○		○		100%		
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、単位認定を行わない。									

課目名	美容教養【ファッションⅠ】						
課目名(英)	Design of Fashion						
単位数	4	時間数	120時間中15時間		担当者	岡田 絵梨奈	
実施年度	2023年度	実施時期	前期		担当者実務経験	香蘭女子短期大学ファッション総合学科長	
対象学科・学年	美容科1年次						
授業概要	ファッションコーディネート基礎的な知識を習得し、ヘアメイクのデザインやポートフォリオの作成などに活用するためのコラージュテクニックを身につける。						
授業形態	講義：○	演習：	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				コーディネートを組み立てる要素を学び、応用することができる	
		○				ファッションカラーコーディネートの基本を説明することができる	
	○	○				ファッションイメージの分類と的確なポイント把握ができる	
		○				ファッション専門用語を正しく使うことができる	
	○	○				オケイジョンズ(TPO)を踏まえて、提案できる	
テキスト・教材 参考図書	参考資料は配布します						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	ファッションデザインとは何か				ファッション雑誌やデザイン情報を収集する	
	2	TPOとフォーマルウェアⅠ				課題プリント・コラージュの作成	
	3	TPOとフォーマルウェアⅡ				課題プリント・コラージュの作成	
	4	時代とファッションⅠ 1920年代～1940年代				課題プリント・コラージュの作成	
	5	時代とファッションⅡ 1950年代～1970年代				課題プリント・コラージュの作成	
	6	時代とファッションⅢ 1980年代～2000年代				課題プリント・コラージュの作成	
	7	コーディネートの実践				コーディネートを構成する	
	8	ファッションデザインのこれから				提出課題をまとめる	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価方法	(1)授業の中で課題提出をおこなう。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験						
	小テスト						
	宿題・レポート	○	○		○		50%
	発表・作品	○	○		○		50%
履修上の注意							

課目名	選択ヘアデザイナーカッティングコース				
課目名(英)	(Hair designer cutting course)				
単位数	4単位	時間数	120時間	担当者	伊藤孝司 吉川直希 山本竜也
実施年度	2023年	実施時期	通年	担当者実務経験	美容室にて美容師として勤務
対象学科・学年	美容科1年				
授業概要	美容師として仕事に向き合う心構えを作る。カットの基礎、基本を理解し、美容師としての土台を学ぶ。スタイルの構成や展開図を理解し、技術を応用してヘアスタイルを作れるようになる。				
授業形式	講義:	演習:	実習: ○	実技: △	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○				目標
			○		ヘアデザインを作成する際の理論を理解し、説明できるようになる。
		○			ヘアスタイルに合わせた技術・技法を使い、カットできるようになる。
			○		展開図を書けるようになる。
			○		ヘアスタイルに合わせたスタイリングができるようになる。
学習目標 (到達目標)			○		美容師として仕事、美容の楽しさを理解し、自分づくり、作品作りができる。
テキスト・教材 参考図書	カット道具一式、ノート、必要に応じてA4プリント、スタイル写真を配布				
	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	道徳系座学ーマインドセッター ①美容師とは?～無手から生み出す尊い仕事～ ②美容師の「師」とは?			メモを取り見返しが出来る状態を作っておく事
	2	基本姿勢(目利き・見極め/道具の理解/開閉・新聞カット)			配布したプリントを読みかえておく事。開閉/新聞カットを行い開閉を安定させる事。
	3	①基本技法(スタイル座学・カット技法 プラント/チョップ・コーム・スライス・パネル・角度・ブロッキング・セクション)			配布したプリントを読みかえておく事。開閉/新聞カットを行い開閉を安定させる事。
	4	②基本技法(座学・ドライ・ブロー・アイロンワーク)			配布したプリントを読みかえておく事。開閉/新聞カットを行い開閉を安定させる事。ウイッグを使い最低週3回反復
	5	③基本技法(プラントカット) ワンレングス(座学・展開図・カット・ブロー・スタイリング)			開閉/新聞カットを行い開閉の安定。ウイッグを使い最低週3回反復しておく事。
	6	③基本技法(プラントカット) ワンレングス(座学・展開図・カット・ブロー・スタイリング)			開閉/新聞カットを行い開閉の安定。ウイッグを使い最低週3回反復しておく事。
	7	③基本技法(プラントカット) ワンレングス(座学・展開図・カット・ブロー・スタイリング)			開閉/新聞カットを行い開閉の安定。ウイッグを使い最低週3回反復しておく事。
	8	④基本技法(チョップカット) セイムレイヤー(座学・展開図・カット・ブロー・スタイリング)			開閉/新聞カットを行い開閉の安定。ウイッグを使い最低週3回反復しておく事。
	9	④基本技法(チョップカット) セイムレイヤー (座学・展開図・カット・ブロー・スタイリング)			開閉/新聞カットを行い開閉の安定。ウイッグを使い最低週3回反復しておく事。
	10	④基本技法(チョップカット) セイムレイヤー (座学・展開図・カット・ブロー・スタイリング)			開閉/新聞カットを行い開閉の安定。ウイッグを使い最低週3回反復しておく事。
	11	⑤基本技法(チョップカット) ローレイヤー (座学・展開図・カット・ブロー・スタイリング)			開閉/新聞カットを行い開閉の安定。ウイッグを使い最低週3回反復しておく事。
	12	⑤基本技法(チョップカット) ローレイヤー (座学・展開図・カット・ブロー・スタイリング)			開閉/新聞カットを行い開閉の安定。ウイッグを使い最低週3回反復しておく事。
	13	⑤基本技法(チョップカット) ローレイヤー (座学・展開図・カット・ブロー・スタイリング)			開閉/新聞カットを行い開閉の安定。ウイッグを使い最低週3回反復しておく事。
	14	⑥基本技法(プラントカット)グラデーション(座学/展開図・カット・ブロー・スタイリング)			開閉/新聞カットを行い開閉の安定。ウイッグを使い最低週3回反復しておく事。
	15	⑥基本技法(プラントカット)グラデーション(座学/展開図・カット・ブロー・スタイリング)			開閉/新聞カットを行い開閉の安定。ウイッグを使い最低週3回反復しておく事。
	16	⑥基本技法(プラントカット)グラデーション(座学/展開図・カット・ブロー・スタイリング)			開閉/新聞カットを行い開閉の安定。ウイッグを使い最低週3回反復しておく事。
	17	⑦基本技法(チョップカット) ハイレイヤー (座学・展開図・カット・ブロー・スタイリング)			開閉/新聞カットを行い開閉の安定。ウイッグを使い最低週3回反復しておく事。
	18	⑦基本技法(チョップカット) ハイレイヤー (座学・展開図・カット・ブロー・スタイリング)			開閉/新聞カットを行い開閉の安定。ウイッグを使い最低週3回反復しておく事。
	19	⑦基本技法(チョップカット) ハイレイヤー (座学・展開図・カット・ブロー・スタイリング)			開閉/新聞カットを行い開閉の安定。ウイッグを使い最低週3回反復しておく事。
	20	⑧基本技法量感調整・質感調整(セニングの理解・使い方/缺での質感調整・スライドカット)			開閉/新聞カットを行い開閉の安定。ウイッグを使い最低週3回反復しておく事。
	21	①～⑧基本技法テスト対策(筆記/実技)			テストに向けて配布プリントの確認。ウイッグを使い最低週3回苦手分野の反復。
	22	①～⑧基本技法筆記テスト/基本技法実技テスト			配布プリントを見直し、課題を最低週3回反復しておく。
	23	1ON1ディスカッション レディース基本技法(個人別弱点強化)			明確になった課題を最低週3回反復しておくこと
	24	道徳系座学ーマインドセッター ③幸せになる為に～仕事に必要な事～			メモを取り見返しが出来る状態を作っておく事
	25	仏式基本技法/時短化-レングス・量感・質感を同時に行う(ボルドー・両目尻・トップ)(クードゥンソー・ピクチャー・エフィラージュ)			開閉/新聞カットを行い開閉の安定。ウイッグを使い最低週3回反復しておく事。
	26	①ロングスタイル(座学/ローレイヤー×ハイレイヤー)※仏式基本技法を用いる			開閉/新聞カットを行い開閉の安定。ウイッグを使い最低週3回反復しておく事。

授業計画	27	①ロングスタイル(座学/ローレイヤー×ハイレイヤー)※仏式基本技法を用いる	開閉/新聞カットを行い開閉の安定。ウィッグを使い最低週3回反復しておく事。				
	28	①ロングスタイル(座学/ローレイヤー×ハイレイヤー)※⑧仏式基本技法を用いる	開閉/新聞カットを行い開閉の安定。ウィッグを使い最低週3回反復しておく事。				
	29	①ロングスタイル(座学/ローレイヤー×ハイレイヤー)※仏式基本技法を用いる	開閉/新聞カットを行い開閉の安定。ウィッグを使い最低週3回反復しておく事。				
	30	②ミディアムスタイル(座学/セიმレイヤー×ハイレイヤー)※仏式基本技法を用いる	開閉/新聞カットを行い開閉の安定。ウィッグを使い最低週3回反復しておく事。				
	31	②ミディアムスタイル(座学/セიმレイヤー×ハイレイヤー)※仏式基本技法を用いる	開閉/新聞カットを行い開閉の安定。ウィッグを使い最低週3回反復しておく事。				
	32	②ミディアムスタイル(座学/セიმレイヤー×ハイレイヤー)※仏式基本技法を用いる	開閉/新聞カットを行い開閉の安定。ウィッグを使い最低週3回反復しておく事。				
	33	②ミディアムスタイル(座学/セიმレイヤー×ハイレイヤー)※仏式基本技法を用いる	開閉/新聞カットを行い開閉の安定。ウィッグを使い最低週3回反復しておく事。				
	34	③ボブスタイル(座学/展開図・カット・ブロー・スタイリング)※仏式基本技法を用いる	開閉/新聞カットを行い開閉の安定。ウィッグを使い最低週3回反復しておく事。				
	35	③ボブスタイル(座学/展開図・カット・ブロー・スタイリング)※仏式基本技法を用いる	開閉/新聞カットを行い開閉の安定。ウィッグを使い最低週3回反復しておく事。				
	36	③ボブスタイル(座学/展開図・カット・ブロー・スタイリング)※仏式基本技法を用いる	開閉/新聞カットを行い開閉の安定。ウィッグを使い最低週3回反復しておく事。				
	37	③ボブスタイル(座学/展開図・カット・ブロー・スタイリング)※仏式基本技法を用いる	開閉/新聞カットを行い開閉の安定。ウィッグを使い最低週3回反復しておく事。				
	38	④ボブレイヤー(座学/展開図・カット・ブロー・スタイリング)※仏式基本技法を用いる	開閉/新聞カットを行い開閉の安定。ウィッグを使い最低週3回反復しておく事。				
	39	④ボブレイヤー(座学/展開図・カット・ブロー・スタイリング)※仏式基本技法を用いる	開閉/新聞カットを行い開閉の安定。ウィッグを使い最低週3回反復しておく事。				
	40	④ボブレイヤー(座学/展開図・カット・ブロー・スタイリング)※仏式基本技法を用いる	開閉/新聞カットを行い開閉の安定。ウィッグを使い最低週3回反復しておく事。				
	41	④ボブレイヤー(座学/展開図・カット・ブロー・スタイリング)※仏式基本技法を用いる	開閉/新聞カットを行い開閉の安定。ウィッグを使い最低週3回反復しておく事。				
	42	⑤ショートスタイル(座学/展開図・カット・ブロー・スタイリング)※仏式基本技法を用いる	開閉/新聞カットを行い開閉の安定。ウィッグを使い最低週3回反復しておく事。				
	43	⑤ショートスタイル(座学/展開図・カット・ブロー・スタイリング)※仏式基本技法を用いる	開閉/新聞カットを行い開閉の安定。ウィッグを使い最低週3回反復しておく事。				
	44	⑤ショートスタイル(座学/展開図・カット・ブロー・スタイリング)※仏式基本技法を用いる	開閉/新聞カットを行い開閉の安定。ウィッグを使い最低週3回反復しておく事。				
	45	⑤ショートスタイル(座学/展開図・カット・ブロー・スタイリング)※仏式基本技法を用いる	開閉/新聞カットを行い開閉の安定。ウィッグを使い最低週3回反復しておく事。				
	46	仏式基本技法省み/テスト対策	今までの配布プリントを見返しておく事。苦手分野は反復しておく事。				
	47	①～⑤スタイル筆記テスト/スタイル実技テスト	今までの配布プリントを見返しておく事。苦手分野は反復しておく事。				
	48	1ON1ディスカッション レディース (個人別弱点強化)	明確になった課題を最低週3回反復しておくこと				
	49	ITリテラシー研修(インターネットマーケティングの基本)	特に無し				
	50	メンズ座学(道具・骨格・考え方・スタイル構成・目付)	配布プリントを見返しておく事				
	51	①メンズカット マッシュスタイル (座学・展開図・カット・ブロー・スタイリング)	開閉/新聞カットを行い開閉の安定。ウィッグを使い最低週3回反復しておく事。				
	52	①メンズカット マッシュスタイル (座学・展開図・カット・ブロー・スタイリング)	開閉/新聞カットを行い開閉の安定。ウィッグを使い最低週3回反復しておく事。				
	53	クリッパー座学(持ち方・運行・手順・基本技法Cムーブ/ハネ/ヌキ・注意点)	開閉/新聞カットを行い開閉の安定。ウィッグを使い最低週3回反復しておく事。				
	54	②メンズカット(マッシュスタイル/ブロック・バック刈上げ)	開閉/新聞カットを行い開閉の安定。ウィッグを使い最低週3回反復しておく事。				
	55	②メンズカット(マッシュスタイル/ブロック・バック刈上げ)	開閉/新聞カットを行い開閉の安定。ウィッグを使い最低週3回反復しておく事。				
	56	③メンズカット(スパイキーヘア/基本技法ヌキ)	開閉/新聞カットを行い開閉の安定。ウィッグを使い最低週3回反復しておく事。				
57	③メンズカット(スパイキーヘア/基本技法ヌキ)	開閉/新聞カットを行い開閉の安定。ウィッグを使い最低週3回反復しておく事。					
58	メンズ筆記テスト/メンズ実技テスト	今までのプリントを見返しておく事。苦手分野は反復しておく事。					
59	1ON1ディスカッション メンズ (個人別弱点強化)	明確になった課題を最低週3回反復しておくこと					
60	道徳系座学ーマインドセットー ④セルフマネジメント～時間と自己投資～	メモを取り見返しが出来る状態を作っておく事					
評価方法	(1)授業の中で実技テストを3回実施する。 (2)筆記テストを3回実施する。 (3)作品を時間内に創れるかテストを実施する。以上を下記の観点、割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)D(59点以上)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	基本技法/実技テスト			◎			30%
	基本技法/筆記テスト	○	◎				20%
	仏式基本技法/実技テスト			◎			15%
	仏式基本技法/筆記テスト	○	◎				10%
	メンズ技法/実技テスト			◎			15%
メンズ技法/筆記テスト	○	◎				10%	
履修上の注意	一定の理解度、出席率がある生徒様に対して、コース修了を証明するディプロマを進呈致します。						

課目名	選択トータルビューティーコース【メイクアップ】						
課目名(英)	Makeup						
単位数	4単位		時間数	120時間中 60時間	担当者	重松愛子	
実施年度	2023年度		実施時期	通年	担当者実務経験	雑誌、広告関係、ファッションショー バックステージ現場経験	
対象学科・学年	美容科1年						
授業概要	美容のプロとして、メイクの根幹と言われるシュウウエムラ メイクアップテクニックを基にベーシック技術を学び、またディプロマ取得を目指す。サロンワークやヘアメイクの現場で必要な机上のセッティングから、フルメイクアップまで、教材を通して、骨格、道具の取り扱い等の知識も同時に学ぶ。						
授業形式	講義:		演習: △	実習: ○	実技: △	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
			○			机上が清潔で、綺麗に整えることができる。	
			○			基礎的な技術を実施することができる。	
			○			モデルに不快感を与えず、技術ができる。	
			○			セッティングから、フルメイクまでが実施できる。	
テキスト・教材 参考図書							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1・2	教材配布				ネームペン、シール等持参する	
	3・4	メイクアップとはーシュウウエムラについて				シュウウエムラテキストを読んでおく	
	5・6	スキンケア1ーモデルの扱い方				シュウウエムラテキストを読んでおく	
	7・8	スキンケア2ーポイントクレンジング				シュウウエムラテキストを読んでおく	
	9・10	スキンケア3ーローション、クリームトーニング				シュウウエムラテキストを読んでおく	
	11・12	スキンケア4ースキンケア復習				シュウウエムラテキストを読んでおく	
	13・14	メイクアップ1ーメイクアップテクニック				シュウウエムラテキストを読んでおく	
	15・16	メイクアップ2ーベースメイク				シュウウエムラテキストを読んでおく	
	17・18	メイクアップ3ーフェイスパウダー				シュウウエムラテキストを読んでおく	
	19・20	メイクアップ4ーハイライト、ローライト、シェーディング				シュウウエムラテキストを読んでおく	
	21・22	メイクアップ5ーアイメイク				シュウウエムラテキストを読んでおく	
	23・24	メイクアップ6ーアイブロー				シュウウエムラテキストを読んでおく	
	25・26	メイクアップ7ーチーク				シュウウエムラテキストを読んでおく	
	27・28	メイクアップ8ーフルメイク復習				シュウウエムラテキストを読んでおく	
	29・30	実技テスト				復習をしておく	
評価方法	(1)授業の中で実施した課題を作ることが出来たか確認する。(2)テキストが記入されているかを確認する。 (3)実技テストを実施し評価する。※シュウウエムラ修了証を取得することができる。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実技テスト・作品			◎			90%
	テキスト作成			○			10%
履修上の注意	特段の事情を除いて、授業は休まないでください。授業中の私語は、厳禁です。復習は必須です。						

課目名	選択 トータルビューティーコース【ネイル】										
課目名(英)	Beauty skill(nail)										
単位数	4単位		時間数		120時間中 60時間		担当者		林 理沙		
実施年度	2023年度		実施時期		通年		担当者実務経験		ネイルサロンにてネイリストとして勤務		
対象学科・学年	美容科1年										
授業概要	技術者としてお客様に施術する上で、技術に合わせ専門的な知識と提案力が重要である。この授業ではネイルケアとネイル知識、衛生管理、ネイル検定3級取得を目指す。サロンワークに必要な知識と技術を習得し、お客様に信頼され常に満足して頂ける知識習得を目指す。 日本ネイリスト技能検定3級とはネイルケア、ネイルアートに関する基本的な技術及び知識を習得している証である。資格取得を目標にネイルケア技術を学び、ネイルの基礎理論を説明できるようになる。										
授業形式	講義:			演習:		実習: ○		実技: △		※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標					
	○	○				JNAテクニカルベーシックに沿った爪の構造名称を覚え、爪の病気消毒法について説明することができる。					
	○	○	○			用具用材の名称と使用目的、衛生的なテーブルセッティングを学び、実践することができる。					
		○	○			爪の名称、構造を理解し正しいエメリーボードの使い方によるファイリング技術で爪の形を整える。					
		○	○			爪の構造を理解した上で安全なプッシャー、ニッパーハンドリング技術でお手入れすることができる。					
			○			赤のポリッシュをキューティクルの形に沿って美しくライン取り、表面をムラなく仕上げることができる。					
テキスト・教材 参考図書	JNAテクニカルシステムベーシック										
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1・2	シラバス提示、教材説明、ラベル貼り、テーブルセッティング、ファイル面取り、スティック削り					スティック削りが時間内に終わらない場合は宿題				
	3・4	カラーリングデモ、実践					特になし				
	5・6	ファイリングデモ、実践 カラーリング復習					特になし				
	7・8	理論(歴史、爪の構造、皮膚科学、生理解剖学)					教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと				
	9・10	理論小テスト、ファイリング、カラーリング復習					特になし				
	11・12	キューティクルケアデモ、実践相モデル カラーリング					特になし				
	13・14	カラーリング工程テスト					特になし				
	15・16	理論(爪の病気、消毒法、色彩理論、プロフェッショナリズム)					教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと				
	17・18	理論小テスト、アート・テーブルセッティングと衛生管理の再確認					特になし				
	19・20	アート、テーブルセッティングと衛生管理の再確認					・3級アートのバリエーションを各自調べておくこと ・検定持参物として、「魔法瓶」「水筒」を準備し始める				
	21・22	過去問題解答解説					特になし				
	23・24	カラーリング実技テスト、検定の工程を確認、実践					特になし				
	25・26	70分タイムトライアル					特になし				
	27・28	70分タイムトライアル					特になし				
29・30	70分タイムトライアル					特になし					
評価方法	(1)授業の中で小テストを実施する。(2)宿題・レポートを実施する。(3)定期試験(実技)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。										
						言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験					○		○			50%
	小テスト					○	○	○			40%
	宿題・レポート							○			10%
履修上の注意	授業では相モデルを組むため、自爪に戻すことが必須 相モデルを組む為私語は厳禁 出席が4/5に満たない場合は定期試験(実技)の受験資格を与えない										

課目名	GCB I											
課目名(英)	GLOBAL CITIZEN basic1											
単位数	1単位		時間数		16時間		担当者		西依優・荒木成美・石井			
実施年度	2023年度		実施時期		前期		担当者実務経験		サロンに美容師として勤務			
対象学科・学年	美容科1年											
授業概要	組織の中で生きて生きていくうえで重要なマナーと協力(協働)について学び、感謝心と思いやりを身に付けて社会に貢献できる人材を目指す。											
授業形態	講義: ○		演習:		実習:		実技:		※ 主たる形態:○ その他:△			
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標						
	○	○				グローバルシティズンという意味を理解し、説明する事ができる。						
				○		「協働」の意味を知り、行動ができるようになる。						
				○		マナーの本質を知り、よりよい人間関係の構築が出来るようになる。						
				○		「感謝と思いやり」を表現できるようになる。						
テキスト・教材 参考図書	GCB1テキストブック											
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示					
	1	第1講座:グローバルシティズンを目指す/グローバルシティズンとは何かを考える。					グループ討論・発表に対する準備。					
	2	第2講座:「協働」の態度を持った学生生活に向けて～マナーの重要性 /グループ討論・発表					グループ討論・発表に対する準備。					
	3	第3講座:よりよい人間関係の構築に/社会生活におけるマナーの重要先人に学ぶ					復習をしておく					
	4	第3講座:よりよい人間関係の構築に/江戸しぐさ・先人から学ぶマナー					感想文シートの作成指示					
	5	第4講座:マナーの本質Ⅰ/相手に敬意を表する					復習をしておく					
	6	第5講座:マナーの本質Ⅱ/相手に敬意を表する(思いを伝える力、真摯な姿勢、素直な態度、誠実な傾聴) 自分を理解する(TA交流分析)					感想文シートの作成指示					
	7	第6講座:グローバルシティズンとしての日常/7つの習慣より(Win-Winを考える、理解し理解される、相乗効果を発揮する)					感想文シートの作成指示					
	8	第7・第8講座:「感謝と思いやり」を振り返る/[感謝と思いやりを振り返る]					復習をしておく					
	9											
	10											
	11											
	12											
	13											
	14											
	15											
評価方法	(1)授業の中で発表を実施する。 (2)宿題として感想文・レポートの提出を課す。 以上を下記の観点・割合で単位認定をする。成績評価基準は、R判定とする。											
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合
	宿題・レポート						○				10%	
	発表・作品		○		○		○				90%	
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、単位認定を与えない。											